

病気の子どもたちの学習支援・復学支援活動を行う

ポケットサポートが お伝えしたい5のこと

- ①病気やけがにより長期間、学校へ行けない子どもは全国で約50,000人いると言われており、支援が必要とされていること。
- ②長期入院はもとより、入院の短期化・頻回化から通院治療中で自宅療養をする子どもたちへの復学支援が重要視されていること。
- ③病気療養中の高校生年代への支援は、ほぼ手付かずの状況であり、生徒への教育支援の充実が叫ばれていること。
- ④医療の進歩によって救命率が上がり、子どもたちは「大人になり、より良い社会生活が送れるかどうか」が課題とされていること。
- ⑤教育は成長・発達に重要で、心理的安定・意欲の向上から、治療効果を高めることや健康状態の回復改善に有効であること。

●病気の子どもたちが教育を受けることができる制度「院内学級」

入院中の子どもたちが通う**院内学級**

全国には病院内や併設で**271学級**

設置率は**病院全体の約37%**

(全国病弱虚弱教育研究連盟 2015年度施設調査)

義務教育ではない高等学校段階の支援はなく、退院後の在宅療養児の学習支援など包括的な制度がない。

岡山県内の院内学級設置病院

<県内には7施設 12学級>

- ・岡山大学病院
- ・岡山県精神科医療センター
- ・岡山赤十字病院（小学校のみ）
- ・岡山済生会病院（小学校のみ）
- ・倉敷中央病院
- ・川崎医療福祉大学病院
- ・津山中央病院



岡山県内で病気やケガを理由に長期欠席している子どもたち

小学生**534人** 中学生**454人**
高校生も含めると**約1,000人以上**

(平成25年度 学校基本調査より)

病気の子どもたちが将来に希望を持って生活できる支援が必要です！

●ポケットサポートが行っている学習支援・復学支援・自立支援の活動

入院病棟での学習支援
ブレイブスペース

外来通院時の学習支援
ポケットスペース

ピアカウンセリングや
個別学習支援は随時実施

入院中

退院前

自宅療養

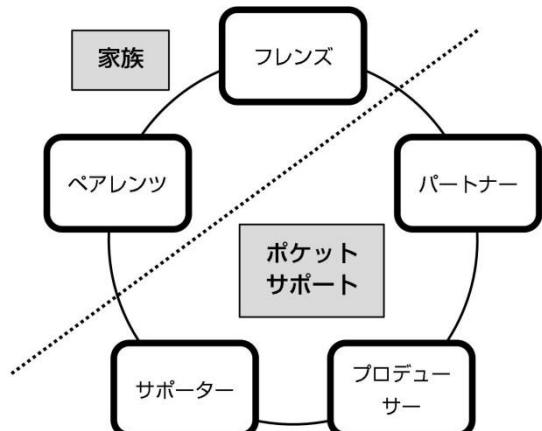
復学

院内学級での
学習支援補助

テレビ電話を使った
双向WEB学習支援

様々な体験学習や友達と
再会できる交流イベント

病気の子どもたちが安心して自分らしく過ごせる環境を提供しています!!



フレンズ……………病気を抱えた小中学生・高校生
パートナー…………大学生ボランティアなど
サポートー…………学習支援員、医療従事者など
プロデューサー…コーディネーターなど

フレンズのことはペアレンツ（両親・家族）だけでなく、
ポケットサポートのスタッフ（大学生ボランティア、学習支援員、
医療従事者など）が連携しながらチーム全体として支援します。

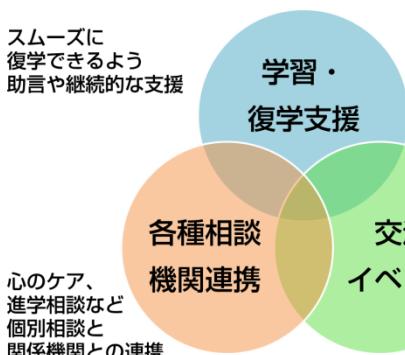


●病気の子どもたちの明るい将来・笑顔の未来を支えるためにできること

スムーズに
復学できるよう
助言や継続的な支援

病床や自宅への家庭訪問
テレビ電話を使った
学習支援事業

ポケットサポートは「病気の子どもたちが
将来に希望を持って生活できる」ということを
実現するために、左図の3つの柱で活動しています。
医療や教育関係者の皆様のご協力も必要不可欠です。
様々な形で支援に携わってくれるサポートーを募集中！



心のケア、
進学相談など
個別相談と
関係機関との連携

同じ思い・
経験をした
子どもたちや
家族同士が交流

- ◇ 病弱児への理解ある環境づくり
- ◇ 間病経験者たちへ学習だけに留まらない支援
- ◇ 関係者や家族への学びの場の提供

特定非営利活動法人ポケットサポート

<http://pokesapo.wixsite.com/pokesapo/>

■ 事務局 ■

住 所：〒700-0932 岡山市北区奥田本町 22-2

電 話：090-7590-0571 (担当：山口)

メーリー：info@pokesapo.com